

A級査定（1次）報告書

令和3年7月15日

報告者：水間光亮

大会名：全九州大学春季バスケットボール選手権大会（1st Stage）

会 場：鹿屋体育大学

期 間：令和3年6月5日～令和3年6月6日

【査定ゲーム】

6月5日（土） 男子 九州国際大学（福岡）VS 鹿児島国際大学（鹿児島）

CC：石本（宮崎） U1：水間 U2：荒木（福岡）

【PGC】：①3POのメカの確認

②ガイドラインの確認

【MTG（クルーMTG）】

- ・1ゲーム通して、ローテーションの崩れ、スイッチミスが多くおこってしまった。
- ・タイマーの管理、TOの管理が疎かになってしまった。（時間が流れる、14秒リセット）
- ・九州国際大学のフルコートプレスの際の、体や手の整理が出来てなかった。（もっと笛を入れてよかった）
- ・足元の整理
- ・オーバーエリアによるコール

【全体を通しての感想】

今回、初めてのA級査定会でした。思ったより緊張もなくゲームに入ることができたが、初っ端からローテーションミスがあり、自分の中でノイズが入ってしまった。

タイマーの管理（メインタイマー・24秒）や、TOとのコミュニケーションなど、自分なりに取り組んでいた部分の意識がまだ足りなかったと感じました。

また、インターハイ予選で指摘のあった、オーバーエリアでのコールに関して、プライマリーが誰なのか、アングルは誰が持っているのか という点を意識しながらプレーを見ていくようにしていかなければいけないと感じた。（セカンダリーの意識を持つ）

今回の査定会、自分の力を出せずに終わってしまった。ノイズに負けないメンタル面、メカニクスや新ルールの熟知がまだまだ足りないので、もっと意識して取り組んでいくようにします。

最後に、コロナ渦の中大会を開催してくださいました九州大学バスケットボール連盟の皆様、原田審判長はじめ鹿児島県バスケットボール協会の皆様へお礼申し上げます。ありがとうございました。